

## ■H29.12.4 市長定例記者会見内容

日時 平成 29 年 12 月 4 日（月）午後 3 時 15 分～45 分（終了後、市議会 9 月定例会提出案件説明開催）

場所 庁議室

出席 市長、市政推進調整監、企画振興部長、水産調整監、商工観光部長、政策推進課長、都市デザイン課長、農政課長、社会教育文化課長、市長公室政策参与、市長公室長

酒田記者クラブ 5 社（毎日新聞、山形新聞、荘内日報、朝日新聞、河北新報）

## ■内容

### 1. 記者発表事項

「第 23 回北前船寄港地フォーラム in 大連」について

市長／第 23 回北前船寄港地フォーラムについて、平成 19 年に酒田で開催。今回で 23 回目。前回の 22 回は鳥取で開催された。北前船は外国に行っていないが、中国の大連で来年 5 月開催となる。民間最大級のフォーラム。北前船、日本遺産認定で注目を浴びている。小樽函館～大阪に構成自治体が散らばっている。関心持たれているフォーラム。今回、本来は任意団体だが、（一社）北前船交流拡大機構が中心となってやる。同機構を平成 29 年度酒田市顕彰式で表彰した。来年は 5 月 26 日、27 日に大連で開催。各自治体では多くの人間を向こうに送り込むべく準備している。26 日に大連でアカシヤ祭り。26 日夜レセプション、27 日本番&観光商談会。日本遺産を活用し、積極的なインバウンド誘致に向けた取り組み、合わせて 12 月 10 日（日）に北前船寄港地フォーラム 10 周年祝賀会を行う。来年は 5 月大連、7 月福井県堺市、新潟県長岡市などで開催予定。以上。

記者／北前船は外国に行っていないとのことだが、今回はインバウンドを主眼に大連ということか → 市長／その通り。北前船交流拡大機構の思惑として、大連からの訪問団を呼びたいというのがある。

記者／フォーラムの中身は → 市長公室政策参与／細かいテーマは決まっていない。インバウンド呼びたい+ブランドどうするかの思惑が合致。北前船交流拡大機構の役員、経済界の大物が多い。中国との取引ある中で、大連側が興味を持った。お互いに惹かれる部分あった。

記者／市民訪問団は？ → 市長／なるべく多くの皆さんを送り込めたらと思う。日中友好協会などからも協力してもらい、訪問団を結成できればいいと思う。大連の対日感情は比較的良好。山形県は黒龍江省とのつながりがあり、大連には事務所がない。訪問団が組めるかどうかはこれから。

記者／アカシヤ祭りはもともとある祭りか → 市長公室政策参与／その通り。毎年 5 月に行われる。

## 2. フリー質問

### ①植物防疫所出張所廃止について

記者／通知があったとのこと。反対の立場だが、考えを聞きたい → 市長／11月に知事が農林水産大臣に要望。昨年、国から職員を新潟に引き上げるとの通知あり。10月5日付で酒田出張所を廃止するとの通知。維持はずっと要望してきたこと。11月21日に、酒田植物検疫協会が市に対し、閉庁を思いとどまることを県に要望してほしいとの通知。東京であったポートセミナーのときに、県知事から要望してもらった。県全体として、輸出入の向上を思い描く中で、防疫所は必要。全て新潟で行うことになると、時間がかかる。

記者／新潟出張所に電話してみたが、職員は1週間に2回程度しか防疫の仕事はなかった → 市長／県として、酒田港の施設の充実を図っている中で、その流れに逆行している。

### ②駅前に着工日

市長／実施設計を出してもらっている。日程的には少し遅れ気味。早くて着工は来年の7月。企画振興部長／駅前のあり方を検討する中で、さまざまな人の意見を聞き、それを反映させるための変更設計中。

記者／新たな予算増はないか → 市長／階数は上がっているし面積も変更あるため予算が変わる可能性は否定できない。変更設計を待ちたい

記者／事業に支障はでないか → 企画振興部長テナント料などに反映され、事業性に影響が出る可能性あり

### ③北朝鮮の木造船について

記者／漂着物情報や、飛島の空き家とかどうか → 危機管理監／いつ来るとも限らないのでわからない

記者／通常の危機管理体制の中での対応となるか → 市長／その通り